



# ばとなだより

## Patona

第8号  
2011.8



駒ヶ根市中央16番7号  
Komagane-shi, chuo, 16-7  
TEL : 82-1150 FAX : 82-1151  
Mail : kmcenter@cek.ne.jp  
URL : http://www.patona-k.com



「井戸端会議」活発に

同センターは自然を守り暮らしやすいまちづくりについて、まちづくりに関わった地域や、関心を持っている人が自由に意見交換する場として企画しました。

2001年着工、今年3月竣工した南田市場土地区画整理事業推進委員会の竹内滋一委員長が事業の概要に触れながら、まちづくり

まちづくりについて考える初の「まちなか井戸端会議」が6月19日、市内中央のこまがね市民活動支援センターで開かれ、同センターの登録団体を中心に30人余の市民が参加、地域づくりや地域の課題、観光振興など、お茶を飲みながら本音で語りあいました。

初の「まちなか井戸端会議」開かれる  
まちづくりについて意見交換する

の苦悩と喜びを語り、「区画整理は終わったが、まちづくりは世代を超えて息長く続けること」と話し、話題を提供しました。

また、登録団体の「まちなか発見隊」は中心市街地を歩いて初めてわかった駒ヶ根市の魅力、元気について披露し、参加者からは「駒ヶ根市の玄関口、JR駒ヶ根駅が寂しい。市民の力で空き店舗を無くすことができないか」と問題提起がありました。これを受け「空き店舗で機織りの実演をしたら」「文化グループの発表場として、ギャラリー喫茶はどうか」など実現可能なアイデアも飛び出し、井戸端会議は一段と熱を帯びました。

「市民の力はすばらしい。行政との協働で道が開かれる」「老若男女がまちづくり

について知恵を出し合うことが大切」などの貴重な意見も出ました。

井戸端会議は広く参加者を募り、今後も継続して開催し、論議を深めていく予定です。

「ばとな」からのお知らせ

\*「熱中症」ご注意！

「ばとな」では熱中症予防に冷たい麦茶をご用意しております。お気軽にお立ち寄りください。

\*「ふれあい広場参加」

9月4日(日)の「ふれあい広場」に参加することになりました。登録団体や「ばとな」の紹介などを行います。

\*「ロゴマーク募集」

「こまちゃんエコポイント事業」の「ロゴマーク」を募集しています。9月15日締め切りです。沢山のご応募をお待ちしております。

\*「ばとなまつり」開催

10月9日(日)「ばとな」で『ばとなまつり』を開催します。登録団体の皆さんの活動紹介や楽しい催し物を予定しています。大勢の皆さんにお見えていただいて、「ばとな」や「市民活動」を知っていただきたいと思います。



JX日鉱日石エネルギー株式会社 販売店

駒ヶ根自動車産業株式会社

本社 〒399-4111 駒ヶ根市北町31-15 ☎0265-83-3434 FAX 0265-83-5054

- カーケアステーション北町 駒ヶ根市北町31-15 ☎0265-83-3434
- カーケアステーション南町 駒ヶ根市赤穂小町屋10770 ☎0265-83-2762
- カーケアステーション中央アルプス花の道 駒ヶ根市赤穂8172-3 ☎0265-83-5500





新年度事業計画を決めた会員

こまがね市民活動支援センターを運営する市民活動支援協会(鈴木明会長)は5月31日夜、市内中央の同センター「ばとな」で第5回会員総会を開き、2010年度第二期、10年4月ー11年3月)事業、収支決算報告を承認し、2011年度事業計画、収支予算を決定しました。

平成23年度事業計画、予算を承認 市民活動支援協会

会員、理事ら約30人が出席し、2011年度(第三期、11年4月ー12年3月)事業計画は、支援センター運営管理受託事業、街なか創業事業を中心に、区・自治組合への支援事業、イメージア宣言事業など単独事業を含む9事業を盛り込みました。予算は一般会計に12万5千円、特別会計(こまがね市民活動支援センター受託事業)に1千6百87万9千円余を計上

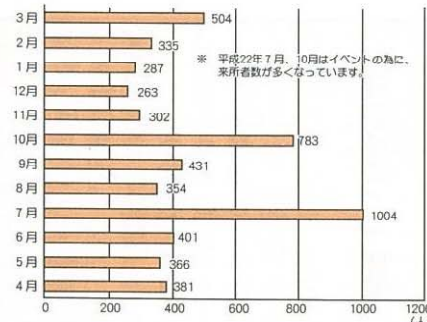
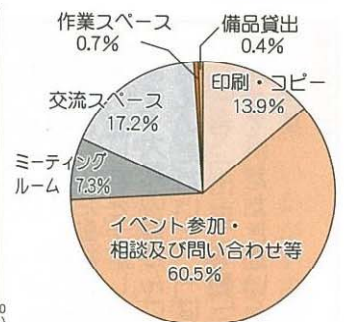
- ▽支援センター受託事業
  - ・ 支援センター運営管理
  - ・ 登録団体の活動支援
  - ・ 市民活動広報の拡充
  - ・ 環境エコポイント受託事業
  - ・ 活動事業の拡大
  - ・ 企業等との連携事業拡大
- ▽街なか創業支援事業
  - ・ 創業活動支援管理
- ▽単独支援事業(研修事業)
  - ・ まちなか井戸端会議
  - ・ 地域づくりワークショップ
  - ・ 地域づくり講座
- ▽関連事業支援
  - ・ イメージア宣言事業
  - ・ まち普請支援事業
  - ・ 県民協働を進める円卓会議

平成22年度 こまがね市民活動支援センター事業実績

- 一、受託事業
  - ・ 支援センター運営管理
  - ・ 環境エコポイント推進事業
  - ・ 子育て情報支援事業
- 二、市民活動団体支援事業
  - ・ 利用者団体連絡会(事務局)
  - ・ 市民活動情報紙「ばとなだより」・「Pフレンド」発行
  - ・ 市民活動相談業務
- 三、市民団体支援事業
  - ・ 長野県元気づくり支援金申請支援
  - ・ 駒ヶ根市まち普請支援事業促進支援
- 四、団体・組織の事業支援
  - ・ 「ばとなまつり」の開催
  - ・ 「灯りフェスタ2010」の開催

この他、こまがね市民活動支援協会では次の事業も受託しました。

- 緊急雇用対策支援事業
- 駒ヶ根市街なか創業支援事業
- 街なか創業塾
- 「まちなかスクエア」開店



運営評議員会 (運営評価) 役員決まる。(敬称略)

会長・小出 勇 (市青少年育成委員会会長)

副会長・気賀澤徳義 (市体育協会理事長)

・松崎 泰隆 (町一区区長)

委員 (市内各団体代表)

・浦野 利彰、代田 和美

・桐生 肇、原 久雄

・田中 和子、宮脇 哲也

・小川まどか

\*なお全員無報酬です。

事業内容

- 一般印刷：チラシ/ポスター/パンフレット/カレンダー/封筒/新聞/冊子/名刺シール/伝票類/ハガキ/包装紙/取扱説明書/連続伝票/自費出版物
- 製本：無線綴じ/上製本/中綴じ/ファイル等

株式会社 宮澤印刷

本社 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂4295

TEL0265-82-2571 FAX0265-82-3564

E-mail miya-pei@cek.ne.jp URL http://www.cek.ne.jp/~miya-prt/



## 区 12 の紹介

### 「町二区」

福祉施設や商店が多い町の中心部



防災設備の点検に出発

北は日の出町から南は福祉センターまで、西は国道から東は田沢の坂の手前まで、中心市街地や伊南バイパス沿いの新たな商業集積地、工業団地もあり、面積は広く、区の人口は9百60世帯、約3千人で、市内では2番目に多い。「生活するのに便利な地域ですが、反面、年代や住民意識のギャップも大きく、時には戸惑ったりすることもあります」と堀内宏一区長。区の行事は敬老会、区民運動会、文化祭、市民総体への参加などがあります。「歩け歩け運動」は23年

続いており、毎回百人以上参加しています。「区が大きいだけに、まとめるのが大変ですが、7月の祇園祭には神輿を3基繰り出し、町二区の意気を示しました。昨年の大御食神社の例祭では、子どもから高齢者まで約3百人が参加、区民が一丸になって、祭を盛り上げました」。

区内には保育園やグループホーム、宅幼小所など各種福祉施設もあり、医療機関も充実しています。特に「ふれあいセンター」は広く使い勝手が良く、地元は優先的に利用させていただき、区民の絆を深める場になっています。

区内から東伊那の東中学校に通学する中学生が15人います。「学校が遠ければ遠いほど心配です。通学路の安全確保が課題の一つになっています」。

区の最大の課題は隣組への未加入者の増加で、現在未加入率は25%前後です。区費用の負担平等の原則だけでなく、ごみや災害時の安全確認上からも問題です。「区内の災害弱者の把握が必要ですが、個人情報保護が壁になっています。市が未加入者対策に一定の指針を出してくれれば」とも

#### 区役員

区長・堀内宏一さん  
副区長・横田俊彦さん  
副区長・登内 長さん  
会 計・鈴木幸雄さん  
分館長・松崎一さん

## 区 13 の紹介

### 「市場割区」

二八災害を機に自治会が倍增

昭和36年6月の豪雨災害による集団移住を、原垣外、向ヶ丘、美里向ヶ丘市住と順次受け入れ、4自治会が8自治会となり、戸数も6百54戸に増えました。

区内には上穂沢川、ねずみ川、七面川、宮沢川が流れ、それぞれの愛護会が河川清掃活動に励み、清流が涼しさを演出し、区民を和ませています。区内の大御食神社は区民の心の拠り所になっています。「天神楽保存会が元旦に天神楽を奉納、敬老会でも披露します」と仁科求区長。

複合福祉施設「エーデルこまが

ね」があり、グループホーム「いなほ」では管理責任者と地区社協や高齢者クラブ、自治会、区など地元関係者が定期的に推進会議を開き、よりよい施設運営について意見交換しています。

分館事業として、敬老会、成人式、文化講演会のほか会報を発行し、区民の相互理解を図っています。ソフトボール大会、バレーボール大会、マレットゴルフ大会、区民運動会、市民総体参加などスポーツを通じて、区民の健康づくり、親ばくを図っています。

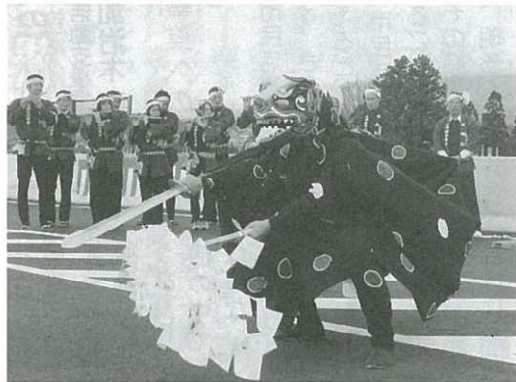
東日本大震災を契機に、自主防災組織の再編を行いました。区役員を中心とした単年度の役員構成でしたが、元消防団分団長経験者をお願いし、3年以上継続して、活躍できる組織の編成を実施しました。再編後の5月24日には防災講演会を開催し、区民の防災意識を高めました。

地区社協では「ふれあいサロン」「元気会」「ふれあい花壇」、高齢者や障がい者を対象にした送迎ボランティア活動に励んでいます。

区の課題は区や自治会への未加入者の増加です。新しい団地ほどその傾向が顕著で全体では二割にもなっています。

#### 区役員

区長・仁科 求さん  
副区長・坪木 茂さん  
会 計・木下勝博さん  
分館長・竹内 清さん



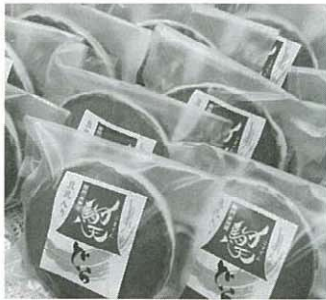
伝統の天神楽を披露する保存会

こまがね情報発信地  
**まちなかスクエア**

4

今年度前半、まちなかスクエアの活動を報告いたします。

店舗では、昨年度同様駒ヶ根の名産品などを展示販売し、観光案内やパンフレットの配布などを行っております。今年度は新たに西駒郷のどら焼きや手づくり商品各種の取り扱いを開始。販売を通じて利用者さんの自立を応援しています。また店内は、以前より市民の皆さんのお立寄り所としてもお使いいただけましたが、7月より熱中症を予防する場としても休憩所を整えました。今後も市民の皆さんに使っていただける場であるよう、観光客の皆さんに正しい観光案内ができるよう、努力してまいります。



西駒郷・工房まめ匠の皆さんが作ったどら焼き



オリエンテーリングの風景。参加者の皆さんは、各所でクイズを解きながら市内の名所をめくりました。

その他にも、まちなかスクエアはイベントの企画、市民活動・商店街のお手伝いなどに幅広く係わらせていただいております。昨年度制作しました「こまがねまち歩きマップ」を使った市内オリエンテーリングや、ゆかた祭りでの店内イベントの実施。各種団体の印刷物編集や制作、各種資料作成代行などもお受けしました。

日々駒ヶ根の情報を発信することを目的に、ブログ記事の作成も昨年より継続しており、今年度はそれに加えて店先にも掲示板を新たに設置し、道行く方にも駒ヶ根の情報を随時紹介しております。

今年度後半もよろしくおねがいいたします。

店舗・市内中央広小路17-23  
営業・午前10時～午後6時  
電話・82-1117-1

連載「ぼとな」の想い⑥  
こまがね市民活動支援協会  
理事 加治木 今

行政との協働事業への第一歩のはじまり

駒ヶ根市には、市民活動団体が、百あまりあります。さらに学習目的のものを加えると、2百近くになります。市民活動は、自分たちが、求めることを、自分たちで活動し、その結果多くの周りの皆さんを、明るくしています。

私たちは、「協働のまちづくり」を進めるためにはこのような市民の皆さんが大きな核になるものと思いました。さて、もうひとつ駒ヶ根市には16区の自治会の活動があります。これは役員さんが中心に運営をしていますが、伝統行事の継承も含めて、大きなものを背負って継続的に活動されています。

市民活動の拠点づくりを考えると、この2つの活動が、お互いを知り合い、連携したら、「大きな輪」が「市民の力」として生まれるのではないかと思います。そこで「まずは、実態を理解しよう」と、それぞれにアンケートをお願いしました。

これが、私たち「きらめき15」が行政との協働の仕事をする市民活動の第1号でした。

(次号へつづく)

編集後記

暑い夏。いかがお過ごしですか？今年度は、節電に加え、猛暑となり、体調を崩しそうな夏になりました。生活の中で気をつけなければならぬことは、「熱中症」の予防です。①気温が高い②陽射しが強い③湿度が高い④風が弱い日は、熱中症になりやすく、汗をかいて水分が不足し、身体の血液の流れが悪くなることから、身体に熱が溜まり、「からだのバランス」が崩れて熱中症になると言われています。特に高齢者の方は、水分の摂取量が不足するよう、老廃物の排出に必要な水分の補給や身体の水分の蓄えが出来るにくいようです。

「ぼとな」では、市民の皆さんのお休み場所として立ち寄って頂くために、冷たいお茶をご用意しております。また、毎週木曜日午前中は、「まちの保健室」を開催しています。

街の井戸端会議の場所として、お気軽にお立ち寄りください。

【事務局長 宮澤】

発行日平成23年8月

発行者

こまがね市民活動支援センター

ナパック株式会社

当社製品紹介



代表取締役社長

鈴木 隆

駒ヶ根市赤穂 14-1823

TEL 82-5266

FAX 82-5270

URL <http://www.napac.co.jp>

